

14
哈爾濱

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

E-0973

0269

津白戸

河部石露及外務省

中尾

外高秘第六五號

昭和四年七月二十三日

昭和四年七月廿六日接受

通商局

福井縣知事小濱 淨



内務大臣安達 謙藏殿
外務大臣幣原喜重郎殿
商工大臣 俵 一 殿

露支國交問題ノ敦賀港ニ

及ボス影響ニ關スル件

標記ニ關シテ管下敦賀高工會議所
及今地貿易業並ニ海運業者等ニ
就キ内查スルニ大要ヲ記シ如ク今姑

103.52

ラクニシテ解決セバ差シタル影響
ナカルノキヲ併久シムカ相多ク影響ハ
免レサルハレト一被ニ觀測シ居リ
右及申(通)報候也

一貨物方面

東支鐵道ノ運輸杜絶ニ伴フ敦賀港
ノ對外貿易ニ及ボス影響トシテハ
先ニ支那領統中哈爾濱方面トシテ
取引中止トナルトナリ 例年ノ實
際ニ當スルニ北滿トシテ取引ハ並トシ
テ大豆、豆粕等ノ輸入ニシテ右ノ早
春ノ運送ハ六月頃迄ニ其ノ取引

ヲ七月頃ヨリ十月頃迄ハ年中ヲ通
シ最ニ困難ナル時期ナルヲ以テ影
響スル処甚ナキモ若シ永ク國交ハ
紛糾持續スルハ於テハ北滿方面トハ
輸出品ハ大連ヲ經由シ全々不可能ニ
非サルモ運賃ノ關係上採算引合ハ
ス随フテ蒙ル影響元相当大ナル又
トアルベシ
然レモ一兩國カ干戈ヲ交フルニ至ラハ
露國一ノ戰時必需品等ハ必然放棄ヨリ
輸出スル事トナルヘク斯クナレハ寧ろ口平
時ヨリモ遙カニ輸出貿易ノ殷盛ヲ劇致
スベシト期待居ルモノアル也況ナリ

一、旅客方面

日露間ヲ往來スル旅客ニ影響ナキハ
勿論ナルカ歐州各國トノ旅客ハ東支
鐵道ノ杜絶トナリシ爲メ一面ハ烏蘇里
鐵道ヲ利用スルニ至リシモ何分現在ト
雖モ殆ント戰時気分漲リ居ル兩國間
ヲ旅行セサルヘカウサルノ不安ニ駈ラレ、
ヨリ漸次之ヲ利用セムトスル者モ減
少スルニ非サルカト危惧シ居レリ
尙東京鼓頰間ノ國際連絡列車ハ東支
鐵道トノミ連絡ヲ執リ烏蘇里鐵道ト
ハ未ダ連絡協定シ居ラサルノ理由ノ不
二當分國際列車ノ運送ヲ中止スル由ニ



テ去ル本用ニテ日ノ國際列車ハ其ノ
運轉ヲ中止セラルニ至レリ

E-0973

0272

C a

情報第貳拾陸號

昭和四年七月廿七日

哈爾濱商品陳列録

時局と哈爾濱市況

△輸出品

(分類E2.10.0.1-1)

輸出品の大宗たる大豆は事件發生前は一市五大洋一元七
 六仙唱へてあつたが露支外交斷絶の報を入れて大洋安も不
 元七二仙まで引下げた。西三日未は稍少廉一元七六仙見當に
 戻して居る。南滿向として哈爾濱在荷馬が弗々取引されて
 居る。

小麦は一元八八仙位なりアメリカ大減收の影響を受けて一
 九八仙、九九仙に昇騰。後爾戰氣構から軍需品との關係に
 多少天候不良も手伝ひ一躍二元〇七仙まで騰騰した。不
 戰言明と天候回復との為め一元九八仙見當まで引戻した。
 北滿小麦は本年は豊作豫想で平年作の一刻増收は確實
 とされて居ると思ふ見込である。

豆類は東行一市五一元二二仙南行一元三四仙であつたが東行
 連絡不能の結果、日本内地は一般四日三五錢から連騰、四日六
 五錢となり、大連亦續騰、當地も是れに伴ひ南行高値一元三
 〇二五まであつたが一元二九五乃至一元三〇仙で、大連は南支又台灣
 向けに高水内地より高値にあるので大連空期につなぐべく日情衰
 油其地が多収買進むのみで、日本には引合せず一般に閑散で

記録件名
 各報
 及
 子
 行
 法
 出
 記

E-0973



専ら、碾業油房も一〇軒位である。

兎に角今四の時期に際し最も痛切なる打撃を蒙つたのは
特産物でも夏季閑散期ではあつたけれども、(車前等輸送用滑車)鳥鉄との連絡が中
止された存り、既に東行せしめた貨物を輸送不能に陥りハル
ピン、ボカラニクナヤの中子驛に滞留して居るもの約一七〇〇車に
達して居る。

其の内譯は

大豆 一三〇〇車

豆粕 一〇〇車

蕎麦、粟、小麦、穀

其他雜穀類

三〇〇車

2

大豆はワツサンド、シビリスキ、ドレーフス等の外者が大部分で、
總て歐洲向け、豆粕及雜穀類は致んど自産である。

外者は日常の戰時保障に附し居る由であるけれども、時節
柄次第長く放任する時は大豆は赤色を帯び歐洲市場に嫌
忌され、事となり、豆粕は穀が全へ、穀や粟は酸酵する恐れが
ある。従つて連絡復活は到底早急の間に合せ、歎くとも一二

ヶ月を要するべく観測する、(各品物産者聯合して東支鐵道に對し、
是等の備償貨物も一旦ハル
ピンに引渡す、改めて大連向發送の事に變更方交渉中である。

特産物側からは浦塩向支拂協の運賃は大連向運賃の二割、
差引き拂ひ戻し、特産物側からは長巻子の運賃に二割金留以
下の増率を承認支拂ふ事を提議したに對し、東支側は一〇

を主張し其の多大なる損害があるけれども總額多額より
交渉する外各々特産者が一陸して抗議文を送る等極力運動
中であるから近々解決するものと見られて居る。

是れに依つて捕撿向と大連向との運賃差^{豆満}一〇〇斤七錢五厘高
の外^{三割}及金利其他相當の損失を免れまい。

又船運賃は今の既り本向に引合ふものが無いので大連り本
よりは多少高合みであるがまだ確定に至らない。然し大連政
洲の船運賃は非常な硬調で一八志見當であったのが最近
は二八志でも船腹が得られ難い状態で、捕撿歐洲は^{大連}常に一志
安であったのが捕撿歐洲間契約を大連へ変更した場合、運
賃暴騰の際船会社が幾らで應じらるか問題で、益をたす外
る側は相當大きな損失を免れないであらう。

△輸入品

ボガウ經由輸入杜松の結果捕撿に停滞した主なものは麻袋
砂糖、人糞、農具等である。

大部分外品で日本から積出されたものは直ちに積戻された模
様で、當地ではまた其の暴落は表て向に顕はれたと云ふ、た
砂糖が在荷、荷の^{之等品}一俵一六日二の半から一七日に引上げられた
のみである。

麻袋も特産の端境期で當地在荷四〇〇〇〇枚、捕撿停滞品
五〇〇〇〇枚位に過ぎなからうといふ。値紋も時局の暴落響き、
印支の生産制限撤廃から増産気構えと、作柄も在程悲観

された體でも無いので産地安に伴い、大連も漸落シフ大連三八銭
当地現物は四六銭を弗々売れるけれども定安見込である。

金物は主として鴉片及アメリカ品を急を要するものは大連強
由に変更されるであらう。買手の華商や外商等は捕獲在り前の
位では仮令捕獲後の契約であつても以實際利益を拒絶するであ
らう。当地外商を餓は大抵僅少の手数料で契約を仲介
して居るに過ぎない。是れ等の損失は多分益主に移して負
担しなければならぬであらうといふ。

綿糸市は浦塩經由のものが殆んど無いので、直接の暑郷音は
無かつたけれども、高橋に大伴安と地方買氣停頓との爲め氣配
軟弱、現在又高橋の契約當時より五分弱方下鞘で、高橋金の

4

田収も困難な模様である。

洋紙類も夏枯れ期なので大した変動は無い。
傳家旬方面も^(高橋)高橋に於ける支那流紙會捕や、東支沿線の發
表氣分が、この方面の表意無く、高橋金も思はしく田収されな
いので相當打撃を蒙つて居る。

小麦の方は落付いて居るので大した暑郷音も無く、茶葉時局
を多収短縮して居る爲め平常より売上の減少は免れぬと云つ
て居るが、キタイスカヤ樹方面では爲人を主たるお客とする空
係上、売り加額に減少し意外の不況を啣つて居る。

製糖品の積出しは、然して日本から切りに組合があるが一部落着
お實際のものが僅少積出しを是念はせたいがある外、変化は無い。たゞ

何れも賣掛金の回収が捗らしから困つて居る。殊に外貨の卸
 者はストックも相當あり、之れがサツバリ売れず、回収もつかず、のみ
 ならず外貨は当地迄の輸送に数ヶ月も三ヶ月を要し、冬物は
 八月中には當地に到着しなればならぬので、大部分既に運
 送途中に在る譯で、中には捕獲揚のものも相當あるであらう
 か、之を如何に処分するかが問題で、大口でも有り、尙る相當大
 なる影響を受けると見られる。

尚事件発生と共に露兵の警備が閉鎖を命ぜられた
 ので、是等を中心として露人吉原が多少狼狽して、日本倉
 庫に貨物を集託したり、又は処分したり、夫ら善後策に奔走
 したのも相當あつた。けれど彼等の立場としては無理も

5

無いのであらう。實際運輸倉庫部に集託したものは大約
 次の通りである。

- 綿帛 一、二〇、〇〇〇 冊
- 織物 三、五〇、〇〇〇
- 麻袋 一、七六、〇〇〇
- 砂糖 三、四、〇〇〇
- 酒類 一、五、〇〇〇
- 毛皮、雜貨、其他小口 三、一〇、〇〇〇
- 計 一、〇〇、五、〇〇〇 冊

尤も頃日米締結後、倉庫構造で、新設保管中には無く、右の由
 少庫に収められたものもある。

△金融及鉄鋼

パナマ銀行及猶太商業銀行、取付説もあつたが閉鎖までにはならず、又一般銀行は多額貸付を停止し、浦塩經由のものに對しては信用状發行を中止したけれども、大連經由のものに對しては何等變化は無い。
たゞ一般に^{（支那を指し勝たぬと）}銀行の貸付中止が金融硬直を来たして居るが止むを得ない事であらう。

大伴銀は六五日乃至六五日五時外から六二日一〇時まで低落し、たが六四日前後まで引戻して保合状態である。

△将来の見込

一般の観測では開戦には至るまいと見られ、樂觀されては居る。

6

けれども、最近軍備さへるといふ爲、支會議も容易に終末に至らぬ相當長時期を要すべく、遂に烏鉄との連絡の回復や、市況の安定、まことにこれ等の諸点を察するであらう。

幸ひにして是れが夏季開戦期であつたので、並幕の暴動等は比較的敷いけれども、若し是れが^{（秋）}引しと輸出の出廻期や、輸入品の冬初見貯蓄に至る様な事があるては、其の暴動等いよゝゝ其大と云ふので、一般に一日も早く和平的解決を希望して居る。



収

文書課長

文書課發送

昭和四年七月十日

發送済

淨書

正校(原稿)

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

淨書

主 通商局長

管 機密

通二 機密

第 六〇三

號 昭和

昭和四年七月十日

附屬書

通

受 信

人 名

高 倉 有 川 久 保 南 務 局 長 宛

發 信

人 名

武 富 運 商 局 長

件 名

西 路 支 店 停 業 報 告 三 依 山 哈

函 寄 市 況 報 告 三 寄 三 件

級 達 名

各 國 商 況 報 告 雜 纂

中 外 報 紙

本 件 二 關 シ 今 般 在 哈 函 寄 市 況 報 告 三 依 山 哈

別 紙 寫

通 報 書 ア リ タ ル ニ 付 爲 御 參 考 右 茲 ニ 送 付 ス

公 信 案

外 務 省

(昭和四年七月十日)

附 屬 書

第 三 〇 二 號 寫 字 簿 附 屬 書

其 上 添 付 ノ コ ト

ヲ

ハ

ニ

海防經濟事情

手

2,10,0,1-1

公 信 案

外 務 省

30 45

E-0973

0279

電信寫

印

昭和4 一一四〇六 暗

哈爾賓 本省 七月廿六日前着

通

幣原外務大臣

八木總領事

第三〇二號

本邦輸出商ハ時局ノ影響ヲ顧慮シ本月十五日以降浦潮經由取引ハ
絶對ニ見合ハセ本月廿二日以降ハ輸送經路ノ如何ニ拘ラス新規取
引ヲ中止乃至手控ヘ居レルカ豆槽、粟等ノ既契約品ニシテ烏鐵連
絡杜絶ノ爲中途輸送不能ニ陷レルモノ四百十一車價格約四十三萬
圓ニ上リ目下之カ損失輕減方ニ對シ對策攻究中輸入品ハ浦潮經由
ニ依ル金物、砂糖等ノ重要品ヲ除クノ外南部線ニ依ルモノ多ク從
テ影響甚大ナラス一般物價モ今ノ處變化ナシ尙各銀行ハ東行貨物

ニ對スル荷爲替取組ヲ受附ケス露支人ニ對シテハ極端ニ貸出ヲ警
戒シ居レリ大洋ハ二十日迄六十五圓見當ヲ保合ヒ來レルモ廿二日
六十二圓臺ニ暴落シ廿四日ニ至リ和解氣分濃厚ノ爲六十三圓ニ引
戻セリ
北平、奉天、上海へ轉電セリ

収
入
一

後
々
ア
リ

東京市麹町區丸の内三丁目二番地一
東京市麹町區丸の内三丁目二番地一
東京市麹町區丸の内三丁目二番地一
東京市麹町區丸の内三丁目二番地一

4.8.1
信

昭
和
四
年
八
月
一
日

外務省通商局
御
中

東亞煙草株式



露支時局ノ商況ニ及ボス影響ノ件
首題ニ
取敢御報告申上候
敬具

左記(字) (七月二十二日)

昨今露支國交紛争ニヨリ當方面ノ情勢緊張ヲ示シ居候モ東鐵ノ終
點タル東西兩國境綫沿河(ボクラニチナヤ)滿州里ニ於テ戰端ヲ
豫想シテ混亂ノ模様アリ兩地ヨリ支人ノ避難シテ入哈スル者多數
アルモ國境方面タケニテ沿線ハ餘リ動搖シ居ラサル狀況ニアリ哈

東京市麹町區丸の内三丁目二番地一
東京市麹町區丸の内三丁目二番地一
東京市麹町區丸の内三丁目二番地一
東京市麹町區丸の内三丁目二番地一

爾實ハ安全地帯トシテ餘リ動搖ハナク避難者ノ入哈ニテ往來繁キ
狀況ニシテ特約店ヲ始メ各販賣店共平常ノ通り販賣致居リ只露人
側商賣キタイスカヤ街方面ノ商店ハ時局ノ影響ニヨリ賣行キ激減
平常ノ一割ニモ達セスト云フ狀況、江省、安達方面モ市況平靜ニ
テ動搖ナキ狀況ニアリ
一面坡方面東部モ格別動搖モナク同地ハ東境ヨリ避難シテ下車ス
ル者相當アリト云フ狀況ナリ
富錦佳木斯川筋方面モ市況平常ノ通りニテ販賣品ノ要求アル有様
ナリ
呼海線其他地方ハ共ニ時局ニ對スル異狀ハ何等ナシ
右ノ情況ニテ露支共ニ一流ノ宣傳多クシテ支那側ニ於テモ吉林江
省ノ兩司令共自己ノ立場ヨリシテ戰意ハ薄ク徹底的ノ戰備準備モ

E-0973

0281

東京市麹町區丸の内二丁目二番地一(電話九八〇〇) 東亞煙草株式會社

ナレ居ラサル模様ニテ國境ニ對スル威示的準備ノ模様ニテ一切和平解決ヲ要望シ居ル情勢ニアリ若シ愈々時局ノ惡化シテ宣戰トモナラハ國境ニ於テ一小戰鬪位ニテ今ノ處大事變ニ至ル事モナキ様當方面一般ノ觀察ニ有之候
時局ニ對スル準備金トシテ哈大洋百萬元ノ調達ヲ各銀號筋ニ命シタリト云フ噂ニテ哈大洋ノ弱氣ヲ示シタルモ稍引返シノ氣配ニテ殊ニ東行特産外貨物ノ輸送不能ニテ今日哈大洋ノ需要ナク大口ノ相場ニ就テハ出合ナク對支取引商方面ニハ商業會議所ノ意圖ニアリ右ノ如キ現狀ニ於テハ英米方面ノ値動キヲ注視シ狀況ニ照シテ値上實行ノコトト致度モ此際販賣實狀ヨリシテ獎勵施設ヲ七月末ヲ以テ打切ル程度ニ致度希望致居追ツテ何分ノ申請可致候
右近況不取敢御報告申上候

E-0973

0282

加

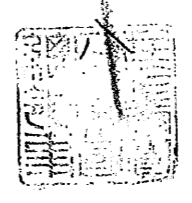
通商局

普通通商第九四號

昭和四年八月廿一日

在哈爾濱

總領事



昭和四年九月拾日 接受



改米局

外務大臣官封格原喜重郎殿

1124.50
112.777000

△ 露支紛争、哈爾濱地方経済界
及ホセル影響、因スル件。

本件、因之概要別紙、通取纏々付之、茲ニ報告
御査閱相成度

本清酒、速寄先

在支公使、奉天、上海、吉林各總領事、在哈大
使、南京、長春、滿洲里、青島、哈爾濱各領事

E-0973

0283

時高ノ經濟界ニ及スル影響

一、露支兩國ノ經濟的利害

露支紛争事件ニ伴フ兩國ノ經濟的利害關係ヲ考察スルニ露國トシテハ綏芬河閉鎖ニヨリ北滿貨物ノ浦塩行及輸入貨物ノ北滿へノ輸送ヲ阻止サレ為メニ馬蘇里鉄道會社ノ損害大ナルモノアリ、且ニ其ノ從事實ニ對スル俸給支拂困難ノ状態ニ在リト謂ハル又蘇城炭ノ北滿輸出不能ニ陥リレ結果之ヨリ受クル直接間接ノ損害多大ニレテ一方浦塩港ノ出入船舶及貨物ノ激減ニ伴ヒ蘇俄關係劣傷者ノ処置ニ困難スルニ至ルヘキ懸念

アリ尚又露國産織物、石油、煙草等ハ馬蘇里又ハ西比利亞鉄道經由北滿へ輸出スルコトニヨリ有利ナル立場ニアリ、レ又交通杜絶國交断絶ニ依リ輸出不能ニ陥リタル為メ此ノ方面ニ於ケル損害莫大ナルモノアリ、レ殊ニ哈爾濱ニ於ケル露國ノ經濟機關カ今次事件ニ關係レ他動的ニ又ハ自省的ニ閉鎖ヲ余儀ナクマテシルコトハ至大ナル影響アリシト見レス
今二三機關ノ事情ヲ見ルニ石油、レングケル個人商店「ネ」フケル商會ノ營業ヲ移レ賣掛金約十四萬圓ノ回收ノ託ニ手持品約十八萬圓ハ之ヲ該商會へ寄託

販賣スルコト、之護護トラストハ營業所シ
 閉鎖ノ上關係者ハ太速ニ引揚ケテゴストル
 グレ及國官商船隊ハ手持品ヲ英國籍ノ
 「ソウセントロカニ」スレ、讓渡レリ蘇聯紡績
 公司ノ手持品ハ之ヲ和商先武商店等へ
 賣却レ營業所ノ閉鎖セリ

如斯今次事件ニ關係レ露國側ノ受クル
 經濟的影響ハ極メテ深刻ナルアリ
 翻テ支那側ノ見ルニ特筆スヘ干預善ナ
 ク將來ニ甚クレ平打擊シ蒙ルコト無カル
 一レ即チ經濟的方面ニ於ケル西國對抗ハ
 支那側カ極メテ有利ナル立場ニ在リト觀
 測スラシ尙事件發生前初露國々官機關

其他ノ商港ヨリ本邦國際運輸會社へ保
 管シ寄託スル各商品ノ價格ハ

綿布	一二〇、〇〇〇圓	砂糖	三四、〇〇〇圓
織物	三五、〇〇〇	酒類	一五、〇〇〇
麻袋	一七六、〇〇〇	毛皮雜貨其他	三一〇、〇〇〇
合計	百五、千円ナルニ	現在	既ニ引取ラレタ ルモノ多シ

因ニニ青地ニハ右國際運輸以外倉庫業
 者無ク便宜英米人其他ノ商社へ保管シ
 寄託シタルモノアルニ其額云フニ足ラス、
 一金融界ノ現状

日本側各銀行ハ依然外人ニ對シ新規貸
 出シ手控へ貸金回収ニ意ヲ用ヒツ、アリ

外人側銀行中、先施銀行、清初、日他銀行ノ警戒シ加ヘタルニ、坂ノ岸口積極的態
度ニ出テ、トルカ如ク貸付金ノ回収之亦緩
急定、レキシ得顧客シ窮地ニ陥ルヘキ行
動アルシ認メ、ス尙合行ハ一特産民預金
百五十萬円程度ノ引出シ見タル由下ル
之現在ニ於テハ、大部分同ニ復レタリト傳
ハラル佛重銀行ハ資金缺乏ノ為メ、從來大
口貸出シ差控ヘ培ル之ノニ、レテ道ハ特高ニ
何等關係ナレ、香港上海銀行ハ例年八月
上旬特産資金ノ貸出シ為ス例トスル之
昨年ハ、亦メ外高筋ノ青田買開始サレ、ス
又取引市場ニ於ケル先物取引ニ、今染手

三

セサル状態ニ在ルシ以テ、特産資金貸出
シ見受サレ、又貸出シ中止スルコトナカル
ハ、レ「カ」リバンクハ、紛争渦中ノ銀行ナル為
一時取付ニ遣ヒタルカ如ク、流布又ラレ、騒
擾シ醸スニハ、至ラサリ、レ又九月八日シ
期レ、總會ヲ開キ閉鎖シ決議スヘレト
傳ヘラレ、債務者側ニ甚メ、レテ不安シ興
ハ今後ノ成行一般ノ注意シ、果メ培レリ
又抑側各銀行ハ、特高ニ關係スル積極的
警戒ハ、ナサレ、又哈大洋ノ暴落ニ心痛レ
之カ維持ニ全力ヲ注ケル状態ニ在リ、從
テ特高關係ヨリ、又哈大洋ヨリ受クル影響
甚大ナルヘレ、要スルニ在、哈各銀行ハ一般

E-0973

0286

ニ多少ノ警戒ヲ為シテ、營業ヲ持續シ居ル状態ナリ
 因テニ哈大洋ハ左ノ如ク統落歩調ヲ出リ最近支那官憲ノ干渉ニヨリ六十一円台ヲ保合ヒ居ルニ大勢軟弱シ免レヌ

	高値	安値
七月一日	六七.〇〇	六六.四五
〃 十日	六五.六五	六五.一〇
〃 二十日	六五.〇〇	六四.四〇
〃 三十日	六四.九〇	六四.五九
八月一日	六三.四五	六三.二五
〃 十日	六二.二五	六二.〇〇
〃 二十日	六一.五〇	六一.〇〇

一 輸出

輸出ハ幸ヒ閑散期ニ降會シ高内薄ク取引上ノ影響輕微ナルニ東行輸送社絶ノ為メ暑假十四日以来東部線ニ停滯中ノ輸出貨物千八百車(内刊高扱約百七十車)ニ上リ其後關係者ノ交渉ニ依リ東支ハ初弊歇ト停滯歇間ノ往復運賃シ布度三哥トシ南部線經由ニヨリ輸送スルコト、ナリタルニ輸送途延荷物ノ腐敗等ニヨリ輸出商ノ損害多大ナリ而シテ東行社絶ハ我滿鉄ニ好影響シ興ハ既ニ現在六十美田ノ運賃増収ヲ見ノリト云ハル尚輸出者側ニ於テハ高鉄運賃支拂用

トシテ八月二日以後ノ島嶼債券シテハリ
バンクニ予約スルモノノ巨額ニ達レ知商
ノミノ予約高三千三萬五千円シ算スリ
右債券ハ東島連絡路開通シ見ル迄
使用ノ途ナク幸ヒ我商工會議所ノ幹
旋ニヨリ解約スルコトナリタルニ既ニ同
債券ヲ手持シ居ルモノノ辭カラズ目下内外
高連名ニテ馬鉄長官ノ對レ額面ノ九五
%ノ融通方交渉中ナリ而シテ他面支那
官憲ハ月初以來若令シ以テ小表外主食
用穀物ノ輸出シ禁止シ居ル為メ豆類以
外ノ賣物ナク取引不能ノ状態ニ陥リ特
季開款期ニ在リト云々青葉香ハ相背

ノ打撃アルヲ免レス
一輸入品

ボクノ「經由輸入社」ノ結果浦塩ニ停滞
レタル主要貨物ハ麻袋、砂糖、金物、農
具等ナリ大部分外國品ニ係リ平知積
出ノ又ハ直午ニ積戻サレタル積戻ニレ
テ特高永利ヲニ於テハ將來之等貨物ノ
輸入経路ハ南部線經由ニ変更サレハノ運
賃高率ニ達レ一者ニ相場昂騰シ期待ス
ラハ、又未メ番レキ変化シ示サス
砂糖、金物等カ一割見高値上シ見タル程
度ナリ平知積出シ主トスル綿業糸布、
雜貨、紙類、海産物等ハ本系南部線經由

ナルヲ以テ相場ニ変動ナキニ之等商品
ノ小賣市場ハ露人ノ購買力減少ニヨリ
極度ノ不況ニ陥リ露人ノ額額トスル者
地ヲキタイスカヤ一帯ノ各商店ハ平素ニ
比レ六割方賣上減少セリト云ノ
尚輸出入共ニ夏期閑散期ナル為メ現在
ノ処亦卸商全般ノ直接影響ハ比較的
僅少ナルニ特高永利ノ特産出回期乃至
輸入品冬物賣行盛特ニ及フニ於テハ之
カ影響相亦大ナルヲ見レヌ

○小賣市場ノ不況ニ由リ
露人ノ購買力減少ニヨリ
極度ノ不況ニ陥リ露人ノ額額トスル者
地ヲキタイスカヤ一帯ノ各商店ハ平素ニ
比レ六割方賣上減少セリト云ノ

E-0973

0289

(分類 E2.14.6.1-1)

北満商況不振
「ハルビン廿四日發電」大津の
の銀幣商況不振、金融逼迫な
どにより大小支那人の破産せる
ものがあるが本年は既に糧食物
の山積り期に入りながら、特許市
債の発行のため自然需給も果地に
助かす銀行も貸付金の回りに努
てゐるが商況は極めて不振、更
に油業も市債発行のため生産引
合は十三種の油房の内操
てゐるものはわずか二三を算入
るに過ぎない。

北支企業
昭和五年十一月
中子

夕
中外新聞
昭和五年十一月二十日

北満商況不振
「ハルビン廿四日發電」大津の
の銀幣商況不振、金融逼迫な
どにより大小支那人の破産せる
ものがあるが本年は既に糧食物
の山積り期に入りながら、特許市
債の発行のため自然需給も果地に
助かす銀行も貸付金の回りに努
てゐるが商況は極めて不振、更
に油業も市債発行のため生産引
合は十三種の油房の内操
てゐるものは僅か二三を算
入るに過ぎない。

夕
國民新聞
昭和五年十一月二十日